



2021年度 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月9日

上場会社名 株式会社ソラスト 上場取引所 東
 コード番号 6197 URL <https://www.solasto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 藤河 芳一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 CFO 管理本部長 (氏名) 原田 圭一 TEL 03 (6890) 8904
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日 配当支払開始予定日 2021年11月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年度第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年度第2四半期	58,150	15.5	3,448	12.2	3,484	17.5	2,134	19.8
2020年度第2四半期	50,360	7.0	3,073	23.3	2,966	18.9	1,782	△41.3

(注) 包括利益 2021年度第2四半期 2,133百万円 (19.4%) 2020年度第2四半期 1,786百万円 (△41.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年度第2四半期	22.60	22.56
2020年度第2四半期	18.89	18.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年度第2四半期	58,520	19,717	33.7
2020年度	60,103	18,472	30.7

(参考) 自己資本 2021年度第2四半期 19,708百万円 2020年度 18,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年度	—	9.50	—	10.00	19.50
2021年度	—	10.00	—	—	—
2021年度（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年度の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,400	8.7	6,700	10.5	6,550	7.8	3,930	11.1	41.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年度2Q	94,479,050株	2020年度	94,437,900株
2021年度2Q	258株	2020年度	258株
2021年度2Q	94,448,672株	2020年度2Q	94,326,760株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 四半期決算補足説明資料及び本日、2021年11月9日開催予定の機関投資家・アナリスト向け決算説明会（電話会議）における資料は、本日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(当社ウェブサイトURL)

<https://www.solasto.co.jp/ir/jp/>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(偶発債務)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年4月～9月)における当社グループの業績は、前年同期比で増収増益となりました。売上高は、医療関連受託事業及び介護・保育事業がともに堅調に推移し、前年同期比15.5%増の58,150百万円となりました。営業利益は、増収による増益及び前年度第1四半期に当社グループ社員へ支給した新型コロナウイルスに関する慰労金約2.4億円の反動等により、前年同期比12.2%増の3,448百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、主に投資有価証券の売却に伴う特別利益が発生したこと等により、前年同期比19.8%増の2,134百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績結果は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2020年度 第2四半期連結累計期間 (2020年4月～9月)	2021年度 第2四半期連結累計期間 (2021年4月～9月)	増減	増減率	(参考) 前年度 (2020年4月 ～2021年3月)
売上高	50,360	58,150	+7,790	+15.5%	106,182
営業利益 (同率)	3,073 (6.1%)	3,448 (5.9%)	+375	+12.2%	6,062 (5.7%)
経常利益 (同率)	2,966 (5.9%)	3,484 (6.0%)	+517	+17.5%	6,075 (5.7%)
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (同率)	1,782 (3.5%)	2,134 (3.7%)	+352	+19.8%	3,538 (3.3%)

<事業セグメント別の状況>

[医療関連受託事業]

医療関連受託事業は、サービスクオリティの維持・向上、生産性の改善を目的としたトレーニングやIT活用等の取り組みを継続的に推進しています。当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス関連業務の受注に加え、既存の派遣事業や請負事業の売上が増加したこと等により、売上高は前年同期比10.3%増の32,884百万円となりました。営業利益は、引き続き処遇改善に努める一方で、増収による増益、生産性改善のほか、前年度第1四半期に実施した慰労金の反動等により、前年同期比10.6%増の4,290百万円となりました。

[介護・保育事業]

介護事業は、2020年10月に株式会社日本エルダリーケアサービス及び株式会社ファイブシーズヘルスケアを子会社化したこと等により大幅な増収増益となりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響としては、当第2四半期連結累計期間においてもデイサービスを中心としたご利用者様のサービス利用控えや施設の一時休業等が継続しました。サービス利用控えの状況は、当年度第1四半期においては1回目の緊急事態宣言が発出された前年同期より改善したものの、依然として新型コロナウイルス感染拡大前の水準には至らないまま推移しました。

保育事業は、2021年4月に認可保育所2施設を新規開設したことに加え、認証保育所1施設を認可保育所に移行したこと等により園児数が増加しました。

以上の結果、介護・保育事業の売上高は前年同期比23.3%増の24,995百万円、営業利益は前年同期比42.0%増の1,455百万円となりました。

介護事業所数及び保育施設数

	2020年9月末	2021年3月末	2021年9月末
介護事業所数	482	633	637
保育施設数	18	18	20

[その他]

教育事業は、2021年度介護報酬改定に伴い、通信講座や教材の刷新等が売上に寄与しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で法人向けサービスの営業活動が滞ったこと等により売上が減少しました。

スマートホスピタル事業は、2021年6月に医療機関へのリモート医事サービスの提供を開始しました。しかしながら、サービス提供開始から間もないため、先行投資費用が発生しており当第2四半期連結累計期間は赤字となりました。

以上の結果、その他の売上高は前年同期比4.7%減の270百万円、営業損失は75百万円となりました。

[全社費用]

全社費用は、2021年7月に稼働を開始した勤怠・給与・販売管理システムの導入費用や減価償却費、その他IT関連投資等により増加し、2,221百万円となりました。

[売上高]

(単位：百万円)

	2020年度 第2四半期連結累計期間 (2020年4月～9月)	2021年度 第2四半期連結累計期間 (2021年4月～9月)	増減	増減率	(参考) 前年度 (2020年4月 ～2021年3月)
医療関連受託事業	29,800	32,884	+3,084	+10.3%	60,926
介護・保育事業	20,275	24,995	+4,719	+23.3%	44,730
介護事業	19,103	23,587	+4,484	+23.5%	42,303
保育事業	1,172	1,407	+235	+20.1%	2,427
その他	284	270	△13	△4.7%	524
合計	50,360	58,150	+7,790	+15.5%	106,182

[営業利益]

(単位：百万円、()内は営業利益率)

	2020年度 第2四半期連結累計期間 (2020年4月～9月)	2021年度 第2四半期連結累計期間 (2021年4月～9月)	増減	増減率	(参考) 前年度 (2020年4月 ～2021年3月)
医療関連受託事業	3,880 (13.0%)	4,290 (13.0%)	+410	+10.6%	7,720 (12.7%)
介護・保育事業	1,025 (5.1%)	1,455 (5.8%)	+430	+42.0%	2,288 (5.1%)
介護事業	893 (4.7%)	1,314 (5.6%)	+421	+47.2%	2,033 (4.8%)
保育事業	132 (11.3%)	141 (10.0%)	+8	+6.8%	255 (10.5%)
その他	30 (10.8%)	△75 (-)	△106	-	44 (8.4%)
全社費用	△1,862 (-)	△2,221 (-)	△358	-	△3,990 (-)
合計	3,073 (6.1%)	3,448 (5.9%)	+375	+12.2%	6,062 (5.7%)

(注) 上記<事業セグメント別の状況>に記載している“売上高”は、P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」の“外部顧客への売上高”を、“全社費用”は、“調整額”の数値を記載しています。なお、“調整額”は、主に報告セグメントに帰属しない費用等であり、各報告セグメントに配分していないものです。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年度通期の業績予想につきましては、2021年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,973	6,854
受取手形及び売掛金	13,876	14,653
貯蔵品	45	37
その他	1,329	1,671
貸倒引当金	△28	△38
流動資産合計	24,196	23,178
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,459	7,064
土地	1,512	1,512
その他(純額)	3,111	2,995
有形固定資産合計	12,083	11,572
無形固定資産		
のれん	14,721	14,361
その他	990	1,271
無形固定資産合計	15,711	15,633
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,133	8,155
貸倒引当金	△21	△20
投資その他の資産合計	8,111	8,135
固定資産合計	35,906	35,341
資産合計	60,103	58,520
負債の部		
流動負債		
短期借入金	2,000	1,500
1年内返済予定の長期借入金	3,545	3,497
未払金	7,523	7,731
未払法人税等	1,227	1,775
賞与引当金	2,227	2,174
役員賞与引当金	38	21
その他	4,017	3,317
流動負債合計	20,580	20,018
固定負債		
長期借入金	12,854	10,696
退職給付に係る負債	1,627	1,691
資産除去債務	904	907
その他	5,664	5,488
固定負債合計	21,050	18,784
負債合計	41,631	38,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	595	623
資本剰余金	5,494	5,522
利益剰余金	12,365	13,555
自己株式	△0	△0
株主資本合計	18,454	19,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△1
退職給付に係る調整累計額	9	9
その他の包括利益累計額合計	9	7
新株予約権	8	9
純資産合計	18,472	19,717
負債純資産合計	60,103	58,520

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	50,360	58,150
売上原価	41,214	47,856
売上総利益	9,146	10,294
販売費及び一般管理費	6,073	6,845
営業利益	3,073	3,448
営業外収益		
受取保険金	10	52
補助金収入	28	138
その他	24	32
営業外収益合計	63	224
営業外費用		
支払利息	93	118
損害賠償金	2	53
従業員休業補償費	64	2
その他	9	15
営業外費用合計	170	188
経常利益	2,966	3,484
特別利益		
投資有価証券売却益	—	202
補助金収入	81	194
その他	—	3
特別利益合計	81	400
特別損失		
固定資産除却損	31	0
固定資産圧縮損	81	194
その他	—	36
特別損失合計	113	231
税金等調整前四半期純利益	2,935	3,653
法人税等	1,153	1,518
四半期純利益	1,782	2,134
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,782	2,134

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	1,782	2,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△1
退職給付に係る調整額	2	0
その他の包括利益合計	4	△1
四半期包括利益	1,786	2,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,786	2,133
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,935	3,653
減価償却費	491	562
のれん償却額	605	677
賞与引当金の増減額(△は減少)	362	△52
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	1	△17
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	27	64
支払利息	93	118
補助金収入	△81	△194
固定資産圧縮損	81	194
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△202
売上債権の増減額(△は増加)	△222	△775
棚卸資産の増減額(△は増加)	3	8
前払費用の増減額(△は増加)	△54	△257
未払金の増減額(△は減少)	366	288
未払消費税等の増減額(△は減少)	△146	△528
預り金の増減額(△は減少)	91	△41
その他	△184	△340
小計	4,370	3,157
利息の支払額	△92	△117
補助金の受取額	168	203
法人税等の支払額	△1,404	△983
その他	20	63
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,063	2,322
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△97	△126
有形固定資産の売却による収入	0	8
無形固定資産の取得による支出	△84	△391
投資有価証券の取得による支出	△105	—
投資有価証券の売却による収入	—	276
敷金及び保証金の差入による支出	△62	△17
敷金及び保証金の回収による収入	4	6
事業譲受による支出	△413	△474
その他	279	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△478	△691
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,500	△500
長期借入金の返済による支出	△1,612	△2,205
株式の発行による収入	5	1
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△942	△945
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△64	△74
その他	△1	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,116	△3,730
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,531	△2,099
現金及び現金同等物の期首残高	11,762	8,953
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,231	6,854

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しておりますが、これにより当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これにより当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(偶発債務)

公正取引委員会による調査について

当社は、2019年5月14日、中部地区(医療事業本部)における医療事務受託業務及び診療報酬明細書点検業務に関して独占禁止法違反の疑いがあるとして、公正取引委員会の立入検査を受けました。

当社は、公正取引委員会による調査に対して全面的に協力してまいります。

なお、調査は継続中であり現時点では財政状態及び経営成績に及ぼす影響は不明です。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定につきましては、前連結会計年度の有価証券報告書の重要な会計上の見積りに記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療関連 受託事業	介護・保育 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,800	20,275	50,076	284	50,360	—	50,360
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	29,800	20,275	50,076	284	50,360	—	50,360
セグメント利益又は損失 (△)	3,880	1,025	4,905	30	4,935	△1,862	3,073

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない教育、不動産賃貸及び損害保険代理店業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,862百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療関連 受託事業	介護・保育 事業	計				
売上高							
医療請負	29,100	—	29,100	—	29,100	—	29,100
医療派遣	3,345	—	3,345	—	3,345	—	3,345
介護	—	23,587	23,587	—	23,587	—	23,587
保育	—	1,407	1,407	—	1,407	—	1,407
その他	438	—	438	268	707	—	707
顧客との契約から生じる収益	32,884	24,995	57,880	268	58,148	—	58,148
その他の収益	—	—	—	2	2	—	2
外部顧客への売上高	32,884	24,995	57,880	270	58,150	—	58,150
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	32,884	24,995	57,880	270	58,150	—	58,150
セグメント利益又は損失 (△)	4,290	1,455	5,746	△75	5,670	△2,221	3,448

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない教育事業、スマートホスピタル事業、不動産賃貸及び損害保険代理店業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,221百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準等を適用しております。この変更が報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報に与える影響はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社は、2021年10月13日開催の取締役会において、株式会社プラスの株式を取得（子会社化）するため、株式譲渡契約を締結することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結しました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社プラス
事業の内容 介護サービス事業

② 企業結合を行った主な理由

株式会社プラスは、愛知県を中心にグループホーム及び小規模多機能型居宅介護を16事業所で運営しています。株式会社プラスがソラストグループに加わることで、愛知県を中心としたエリア内のサービス拡充及び「地域トータルケア」の実現に貢献するものと判断し、株式を取得し子会社化することを決定いたしました。

③ 企業結合日

2021年11月12日（予定）

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称

株式会社プラス

⑥ 取得する議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得する予定であるためであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	2,800百万円
取得原価		2,800

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 20百万円
なお、一部が未確定であるため、暫定的な金額であります。

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。